

TOHOProject FAN BOOK & UNIQUE TRAVEL GUIDE BOOK

九州の東方を往く

新・東方を往く 2017/05

vol. 01

MainContents

★特集1 カッパ王国九州

★特集2 佐賀の蓬萊伝説 -XUFU SAGA-

豊前の天狗 / WellcomeHell ようこそ地獄へ

天孫降臨の舞台 高千穂

Thank You 10th Anniversary

かんだんのゆめ



福岡県久留米市 田主丸駅

- 2 ←イマココ!!
- 4 紹介地マップ
- 6 ★特集1 カッパ王国九州
- 18 豊前の天狗
- 22 ★特集2 佐賀の蓬莱伝説 -XUFU SAGA-
- 30 ようこそ地獄へ ベッコぶ地獄めぐり
- 32 天孫降臨の舞台 高千穂
- 36 九州各地の東方的スポット
- 39 同人イベコト×九州観光のスヌム
- 40 九州へ行くには?・知っておきたいオトクなきっぶ
- 42 あとがき

【お知らせ】

- 突然ですが、2010年から5冊出してきた「東方を往く」をリニューアルし、「新・東方を往く」シリーズとして再スタートさせていただくことになりました。
- 版型をB5版からA5版に変更して小さくし、お値段もよりお求めやすいワンコイン価格になりました。
- 東方 Project の聖地巡礼ガイドとしてだけでなく、ちょっと変わったところに行ってみたいという一般の方の需要にも応えられるようにしたいと考えています。

- このガイドブックは同人観光ガイドです。東方 Project 原作の上海アリス幻樂団様をはじめ、地域諸団体等とは一切関係ありません。
- 紹介したモデルやモチーフについての解釈は、自己研究やネット上での解釈（定説）を参考にしたものであり、その全てが公式情報と言うわけではありません。
- 各データについては2017年4月現在のものです。本書ご活用の際には念のため最新情報をご確認ください。
- できる限り注意はしておりますが、もしかしたら致命的な間違いをしている可能性もあります。また、そんな間違いを見つけましたらお気軽にご指摘ください。

●特集1

カツパ王国九州

出発進行!





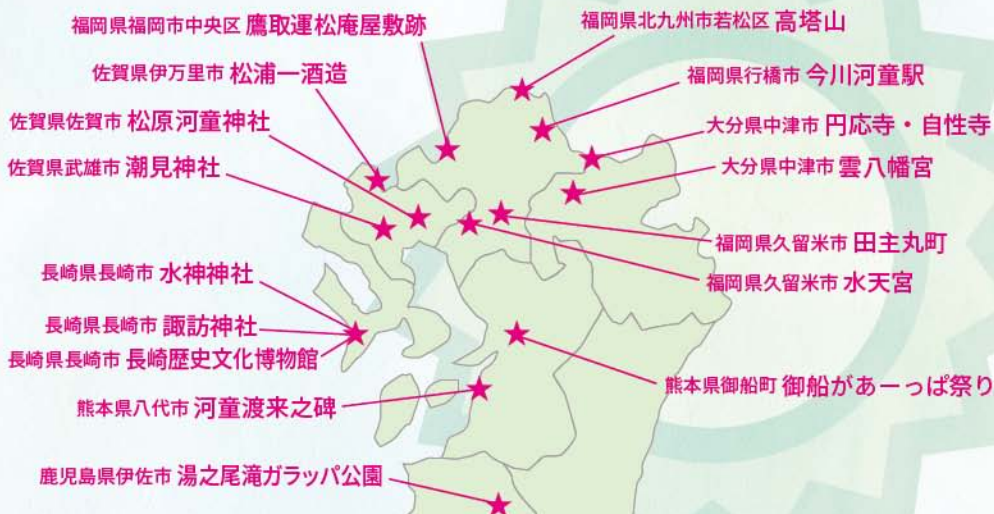
正直、カッパ伝説多すぎな九州

九州はとにかく至る所にカッパの話が伝承されており、正直なところ片っ端から紹介するのはかなり大変である。九州のカッパ伝説についてだけをまとめた本もいくつかあるが、どれもそれなりの分量となっている。

そこで、ここでは、「現地にカッパに纏わる何らかのものが存在している」ことを基準として、各地のカッパスポットを紹介していきたい。



九州のカッパスポット



福岡県のカッパスポット

いまがわかっぱ 今川河童駅 (福岡県行橋市)

九州北部の第三セクター平成筑豊鉄道には「今川河童駅」という不思議な名前の駅がある。『その昔いたずら好きの河童がいた。あまりにいたずらが過ぎるので、村人たちは河童に人間の子どもと相撲をとらせたのである。河童は投げられ、悪行を詫び、それからは子どもたちと仲良しになった』という今川に伝わるカッパ伝説に因んで名付けられた。ただ、駅横に河童像がある程度で周辺には特に何も無い。また、近くの東九州道今川PAのトイレにも河童が潜んでいる。

【DATA】
福岡県行橋市流末 1380-2 平成筑豊鉄道田川線 今川河童駅そのもの





福岡県東部には天狗にまつわる二つの山がある。
英彦山と求菩提山である。

英彦山は大分県との県境にある標高1199mの山で英彦山神宮がある。この山には彦山豊前坊という大天狗が棲むとされ、九州の天狗群の棟梁格と言われる。整備され観光客も多く訪れる場所となっている。

求菩提山は標高782mの山。山伏姿の次郎坊なるカラス天狗が棲んだとされ、山には修験道で栄えた当時の遺構が残る。地元の豊前市ではカラス天狗をキャラクター化して街のPRをしている。



ひこさん
英彦山
福岡県添田町

英彦山は福岡県添田町に属する。出羽の羽黒山、熊野の大峰山と並んで日本三大修験道霊場として信仰を集めた。英彦山権現を祀る修験の道場霊仙寺として栄え、江戸時代の最盛期には「彦山三千八百坊」といわれ、三千人の衆徒と坊舎八百を数えたというが、明治の神仏分離により修験道は廃止され、英彦山神社となった。
英彦山各所に撰末社があるほか、高住神社は大天狗の一人豊前坊天狗神で有名である。



XUFU 佐賀 徐福 SAGA

佐賀の蓬萊伝説を追う

伝説というものは、どこに伝わるものでも多少なりの「うさんくささ」が漂っているものだ。

例えば、以前取材した四国ちほいの荘内半島に伝わる浦島太郎の伝説は、半島の地名にまつわるエピソードで構成されているものだったが、太郎の生まれた「生里」地区、玉手箱を開いた「箱」地区、おじいさん（仁義深い老人）になった太郎が住んだ「仁老浜」地区と、典型的な「伝説」であった。

竹取伝説などは「このへんは竹の多い場所だから」という雑な理由まであったりした。

もちろん、それに本気でイチヤモンをつけるのはナンセンスでしかない。こういった伝説は絶対にあったのだと信じるものではなく、あくまでも「不思議な事件を不思議なりに『事実』として報告」したものであり、どこの伝説でもそういうものなのだ。

さて、今回扱う「徐福伝説」はいわゆる不老不死伝説と言われるものの一つである。中国の徐福が秦の始皇帝に命じられ不老不死の薬を捜しに日本へとやってきた、というもので、他の伝説に例に漏れず青森から鹿児島まで様々な場所に徐福の伝説が残っている。この時点ですでにうさんくささが漂う。

しかし、徐福伝説については比較的真面目に研究がなされており、近年中国では徐福は実際に存在した人物であり、日本へと旅立ったことも事実であるうと報告されているのである。

では、徐福が実際に訪れたとされる日本の地はどこなのか。

それは九州の「佐賀県」である。

徐福とは



徐福像 (左：佐賀市徐福長寿館 右：青森県小泊村)

徐福は、紀元前3世紀頃に実在したとされる方士である。「方士」とは中国古代におけるさまざまな専門的技術「方術」を駆使した者で、不老不死の術や医術・易占などを行っていた。また、中国読みでは「シューフー」、別名として「徐市」がある。

紀元前221年、中国を統一し強大な権力を得た秦の始皇帝が次に望んだのは不老長寿の体を手に入れることだった。

中国の正史とされる司馬遷の「史記」によると、「斉国・琅邪（現在の山東省）の方士徐福が、「はるか東の海の彼方に三神山があり、そこに住む仙人が不老不死の霊薬を作っております」と始皇帝へ申し出た。始皇帝は五穀・百工、童男童女三千人をのせた大船団を徐福に与えた。大船団を率いて出航した徐福は、平原広沢の地にたどり着き、その地の王となり中国には戻らなかつた」

…というのが中国における徐福にまつわる大体のストーリーである。この「平原広沢の地」というのは日本のごときで、前述したとおり日本各地にも約30箇所徐福上陸の伝説が残っている。

その中で、実際に徐福が訪れた可能性が高いとき



「史記」における徐福の記述。(徐福長寿館展示より)

れる佐賀。この地にどのような伝説が残っているの紹介したい。

佐賀における徐福伝説

徐福が中国を出発し数日、日本に到達した場所は九州は佐賀県の北部、伊万里湾付近だとされる。

日本へと上陸した一行が霊薬を求めて最初に向かったのは長崎県松浦市にある「不老山」であった。名前は徐福の伝説からによる。

次に向かったのは有田町にある「黒髪山」とされ

る。ここは奇岩や巨木が多く古代より山岳信仰の霊場とされ、一行は頂上にある天童の岩周辺で仙薬を探し求めたが、ここでも何も発見出来なかつた。その次に向かったのは武雄市にある「蓬萊山」。一行はその麓にある武雄温泉に入り疲れを癒やしたという言い伝えがある。

更に東へと向かった一行は白石町の「竜王崎」で有明海へと達した。(なお、徐福船団は直接有明海に入り、最初に着いたのが竜王崎だったとする説もある) 一行はここからまた海へと出る。



【国土地理院 地形院 データを加工して利用】

九州各地の 東方的スポット

ここまでテーマ別に東方的スポットを紹介してきましたが、九州各地には他にもアレコレと東方的スポットが存在しています。完全網羅…とまでは行けてませんが、ここにまとめて紹介します。

中途半端に空いたところにはご飯をいれた。

し か う み じん じ しゃ 志賀海神社

【伊月抄】海神関係



福岡県福岡市東区志賀島 877

玄海灘に臨む交通の要所として聖域視されていた志賀島に鎮座し、「龍の都」「海神の総本社」とたえられ、海の守護神として信仰されている神社。仲津綿津神（神功皇后）、底津綿津見神（玉依姫命）、表津綿津見神（応神天皇）を祀る。



な み お り じん じ しゃ 波折神社

【うさぎの狛犬】



福岡県福岡市津屋崎 4丁目 33-1

瀬織津大神、住吉大神、志賀大神を祀る。三人の漁夫が漁に出ている際、嵐に巻き込まれ必死に三神に祈った。すると三神が現れ迫りくる大波を袖で打ち払い、波は折れて嵐は取まったという伝説がある。境内に波乗りうさぎの狛犬がある。

ふ た み い わ 二見岩

【伊月抄】浦島太郎



福岡県福岡市東区志賀島

志賀島の東にある岩。志賀島の浦島太郎伝説の舞台。竜宮なんて無かったのだ。

た ざ い ふ て ん ま ん ぐ う 太宰府天満宮

【英歌仙(15話)】菅原道真



福岡県太宰府市幸府 4-7-1

学問の神様菅原道真を祀る神社として全国的にも有名。

す み よ し じん じ しゃ 住吉神社

【伊月抄】住吉さん



福岡県福岡市博多区住吉 3-1-51

日本三大住吉のひとつ。創建は1800年前で、全国2千社余りの住吉神社の中で一番最初の神社と主張している。1月には鷲替え行事が行われている。

ふ こ う じ 普光寺

【英歌仙(15話)】臥龍梅



福岡県大牟田市大字今山 2538

大牟田市で最も古い天台宗の寺院。地を這う龍の如き「臥龍梅」で有名。2月中旬～3月上旬あたりが見頃。

に よ い り ん じ 如意輪寺 (かえる寺)

【カエル】



福岡県小都市横瀬 1729

別名かえる寺とも言われる。住職が中国から翡翠で出来たカエルを持ち帰ってきたのをきっかけに、現在5000体まで増殖している。カエルは中国では仙人の使いとされている。



2 784332 619120



2 922426 005002

ISDN278-4-332619-12-0

C2426 ¥500E

発行：サークル かんたんのゆめ



KOKURA STATION

The illustration shows a stylized building with horizontal black and white stripes. The text 'KOKURA STATION' is written on a blue band below the stripes. In the foreground, a character with a large blue bow on their head, wearing a blue dress with white trim and a large blue bow at the bottom, stands with arms raised. A blue and white train is visible on the right side of the image. The background is a light blue sky with a white cloud.